



サイジャーナル

月刊
31-1・2
第443号

日本サイ科学会 平成31年1月1日発行

本部 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 郵便振替 00100-2-15344 日本サイ科学会
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

東 北 〒981-0904 仙台市青葉区 旭ヶ丘1-36-1アサビル201号 佐佐木 康 二 ☎ 022 (279) 0908・FAX 022 (274) 0097	中 部 〒455-0053 名古屋市港区 名四町113 眞 野 博 英 ☎ 090-9196-2963	北 陸 〒920-0031 金沢市広岡2-7-25 プレミスト金沢駅西口1 804号 佐 藤 禎 花 ☎ 076 (234) 6634	関 西 〒596-0807 大阪府岸和田市 東ヶ丘町808-153 河 野 明 夫 ☎ 072 (445) 7737・FAX 072 (445) 7796	九 州 〒851-2122 長崎県西彼杵郡 長与町本川内16-6 森 安 政 仁 ☎ 095 (883) 6048・FAX 095 (883) 6159
---	--	--	--	---

年頭のご挨拶

会長 浪平 博人

新しい年を迎えるにあたり、
日本サイ科学会の発展と皆様のご多幸をお祈り申し上げます。



思えば、昨年の気候はいかにも激しくそれに伴う災害も厳しいものでした。年を追うごとに、この傾向は強くなっているように感じます。これが続けばどうなるか、私の杞憂であつてほしいものです。この現象の原因の一つは、我らの住むこの地球へも大きな負担となつてしまった人の慎みを欠いた行為であることは否定できないでしょう。この行為の根拠は何でしょうか。それは、我々の理性がよ

いとして我々に許す「自由」という概念です。人は自由が最も大切との主張です。

理性はいつも正しいのでしょうか。皆さんは無限に関し実感を以て理解できますか。限りがないとはどういうことか。空間でも時間でも無限を考えるといつも迷います。人生の意味々々についても同じです。普遍的なものがあるのか、理性で測れるのか。意味とは何なのか。極微の世界の現象も不思議の塊です。我々の理性には大いなる限界があります。

本当に大切なことは、ほとんど分からないのではないのでしょうか。慎みが必要です。

理性の限界を視野に置いた新しいパラダイムの構築が必要に思えます。

皆さんのご活躍を期待します。

今月号の記事

- ◎ 年頭のご挨拶
- ◎ 二月本部例会のお知らせ
- ◎ 御寄付御礼
- ◎ 関西サイ科学会一月・二月・三月研究集会のお知らせ
- ◎ 中部サイ科学会三月例会予告
- ◎ 第4回・第5回占星学と運命創造学の研究分科会のお知らせ
- ◎ 第36回宇宙生命研究分科会のお知らせ
- ◎ 第9回スピリチュアル研究分科会のお知らせ
- ◎ 平成30年四月本部例会の報告
- ◎ 第四三一回関西サイ科学会報告
- ◎ 第四三二回関西サイ科学会報告
- ◎ サイ現象時のノイズについて(無意識、光子)

二月本部例会のお知らせ

- 日時 平成31年2月2日(土)
午後1時30分～4時30分
- 会場 北とびあ9階902会議室
- 交通 JR京浜東北線王子駅下車
徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル
- 会費 会員 二千元(当日入会可)
一般 三千元 学生 一千元

エピジェネティクスとは何か？

講師 東中川 徹氏

私たちのからだは遺伝子によってどのように作られ、また働いているのだろうか。この問いに答えるための画期的な出来事が2003年に完成しました。それは、ヒトゲノムの解明です。つまり、ヒトの設計図としての30億個の文字配列が明らかになったのです。では、それで私たちのからだのつくりや、働きが説明できるようにになったのでしょうか。

実は、この設計図(ゲノム配列)には、からだを作るにあたりどの部分をどの順序で手をつけるべきかについて何も書かれていないのです。したがって、設計図を実行に移すにはゲノムの文字配列以外の情報がどうしても必要です。

その情報とは、ゲノムを構成するDNAの化学修飾や、ゲノムに結合しているタンパク質の化学修飾などで、そのような修飾を受け、これらを総じて研究する分野はエ

ピジェネティクスと呼ばれています。

私たちが食物を通して取り入れる栄養素は、からだの構成成分やエネルギー生産に使われるだけでなく、実はゲノムに働きかけそれをエピゲノムという形に変える働きをしています。そして、それを通じてからだの形や生理状態(健康や疾病)に深く関わっています。

エピジェネティクス研究はもう一つの重要な事実を明らかにしつつあります。それは、私たちが一生のあいだに得たからだの特徴などは、世代を超えて伝わることはない、と考えられてきました。しかし、最近の研究によると、親の特徴が子に、また孫に伝わる可能性が指摘されています。この過程にエピジェネティクスが関わっていることが多くの研究から明らかになっていきます。このことは私たちに大きな問題を投げかけていると言えます。その辺りも含めて、詳細にお伝え致します。

※東中川徹氏はプロフィールにありますように、永年大学や大手の研究所で研究を続けて来られました。専門は、分子生物学で、特に

21世紀における遺伝子研究の中心と考えられています。「エピジェネティクス」の分野と伺っています。2016年には「エピジェネティクス」というタイトルの著書も出版されました。今回は、その中から興味ある話題を取り上げお話ししていただくことになりました。また、氏がサイ科学に興味を持たれたきっかけについても触れていただきます。分かりやすくお話ししていただけますので会員の皆様は、ご友人・知人をお誘いして是非ご参加願います。

◎東中川徹氏のプロフィール

1939年満州国にて誕生。終戦後、鹿児島に引き揚げ。1965年東京大学理学部化学科卒。在学中に生物学に転向。その後生物学の道を歩む。癌研究所、三菱化成生命科学研究所、米国留学、産業医科大学、東京都立大学を経て、1997年早稲田大学教授。2010年退職。2018年まで(株)EM研究機構研究部顧問。現在、早稲田大学名誉教授、日本エピジェネティクス研究会名誉会員。研究テーマ…発生における遺伝情報発現の機構。

趣味…書道、英文小説。

※一月と三月の本部例会は休会となります。

「心を科学する博物館」と
一般の御寄付御礼
(12/15受領分まで)

金二万一千円也 匿名様

関西日本サイ科学会
一月研究集会のお知らせ

旧約聖書の出エジプトに
秘められたる真実

講師 坂井 洋一氏

日時 平成31年1月19日(土)

午後1時15分～5時

会場 阿倍野市民学習センター

第一会議室

交通 地下鉄谷町線「阿倍野駅」

7号出口よりあべのベルタ
地下2階通路を通りエスカ
レーターで3階へ

会費 会員及び同伴の家族 二千元

一般三千元(初回参加者二千元)
学生 一千元

問合せ 072・445・7737



関西日本サイ科学会
二月研究集会のお知らせ

タイトル決定次第、サイトに掲載

講師 金子 栄子氏

日時 平成31年2月16日(土)

午後1時15分～5時

会場 阿倍野市民学習センター

第一研修室

交通 地下鉄谷町線「阿倍野駅」

7号出口よりあべのベルタ
地下2階通路を通りエスカ
レーターで3階へ

会費 会員及び同伴の家族 二千元

一般三千元(初回参加者二千元)
学生 一千元

問合せ 072・445・7737



関西日本サイ科学会
三月研究集会のお知らせ

タイトル決定次第、サイトに掲載

講師 Dr・アマナ氏

日時 平成31年3月16日(土)

午後1時15分～5時

会場 阿倍野市民学習センター

第2会議室

交通 地下鉄谷町線「阿倍野駅」

7号出口よりあべのベルタ
地下2階通路を通りエスカ
レーターで3階へ

会費 会員及び同伴の家族 二千元

一般三千元(初回参加者二千元)
学生 一千元

問合せ 072・445・7737



中部日本サイ科学会
三月研究集会のお知らせ

会員数名の研究・体験発表

日時 平成31年3月23日(土)

午後1時～5時

会場 博愛療院(ゆういん)

名古屋港区名四町1113
交通 地下鉄名港線「港区役所」

駅下車 徒歩15分

会費 一〇〇〇円(会員・一般)

※会員以外の方の参加も大歓迎
問合せ 080・1658・7398



第4回 占星学と運命創造学
の研究分科会

日時 平成31年1月19日(土)

午後1時30分～4時30分

会場 北とびあ7階701会議室

交通 JR京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤
羽寄り)の階段を下り改札

口を出て見える高層ビル

会費 会員 一千元(当日入会可)

一般 二千元 学生 一千元

※後述の★欄をご覧になって、ご
参加予約願います。
※当日会場にて直接、現金にて

参加費をお支払い下さい。

テーマ

直接&遠隔ヒーリングの技法
伝授と、木星・土星+外惑星
(天王星、海王星、冥王星)の
2019年以降の星座通過に
よる個人と世界への影響につ
いて

講師 瀬尾 泰範氏

ヒーリング(癒やし)の方法は
大きく分けると2種類あります。
一つは按摩、マッサージ、アロマ
セラピー、整体、カイロプラクテ
ィック、鍼灸等の物理的な刺激を
与える方法と、もう一つは気功、
手かざし、オーラ治療、心霊治療、
遠隔治療等の気や念、生体エネル
ギー、霊的パワーを使う方法があ
ります。

今回のセミナーでは後者の非接
触での見えないエネルギーを使う
方法をご紹介します。

特に能力者でなくても、これら
の力は誰でも持っているものなの
です。自己ヒーリングも含めて、
目の前にいる人のヒーリング、何

千キロメートル離れていても効果のある遠隔ヒーリングでも、共通の技法があります。

身口意(動作+言葉+意念)のルーティーンを学び、参加者同士の実践練習、また家族、友人、知人で病気や体調を崩している方の写真、あるいはスマホのデジタル写真(できれば全身に近い構図)をもってきていただいて、遠隔ヒーリングの実践練習を行います。

※また会員の方で「ミディアムシツプ・ヒーリング」をされている瀧瀬啓子氏から、その内容の紹介もさせていただきます。

占星学の方は、今後の木星、土星と外惑星(天王星、海王星、冥王星)の進行に伴う、個人の運勢の環境運と、社会情勢の方向性と波の診断法を紹介致します。

黄道上の1星座を惑星が通過する期間は、木星が1年、土星が2年半、天王星が7年、海王星と冥王星が十数年となり、それぞれ配置と本人のホロスコープ(出生天宮図)の星達(特に太陽と月)と形成する相互角度によって、人生における年運や大きな波が形成

されます。

中国占星学(四柱推命学、算命学等)で使われる60年周期の「干支」は木星、土星の配置と関連するといわれております。

当日、木星、土星と外惑星(天王星、海王星、冥王星)の星座進行資料を配付して、今後の社会情勢の予測と、個人の環境運の実践診断をして、今後の生き方の海路図にしてください。

◎瀨尾泰範氏のプロフィール

1951年静岡県清水市(現静岡市)生まれ。西洋占星学を40年以上研究、かつプロとして診断もし、70年代に英国のJogn M. Addey氏が提唱したハーモニクス理論を発展させて、独自の「アストロハーモニクチャート」を使い、パーソナリティや才能、運勢等の新しい診断法を確立した。

一般人レベルの念動力も測定できる「サイポテンシャルメーター」を開発し、PK・ESP能力の養成も指導している。

「才能発見育成研究所」、「アストロハーモニク」を主宰、日本サイ科学会理事。

★既に分科会に参加されて、当会のホロスコープ(出生天宮図)をお持ちの皆様へ

分科会では参加者ご本人(あるいはご子息等)のホロスコープ(出生天宮図)セットを当日診断に利用致します。

従って、これまで「占星学と運命創造学の研究分科会」にご参加いただき、ホロスコープ(出生天宮図)等を配布された皆様は、当日すべてのチャートをご持参願います。(配付資料準備のため1月17日までにoffice21@psimail-box.ne.jpに参加メールを送信いただくか、FAX047-330-4091に参加FAX願います。)

★初めてご参加の皆様

ご本人のオリジナル・ホロスコープ(出生天宮図)を事前に印刷したものを、当日配布して、診断に利用致しますので、以下の出生データをoffice21@psimail-box.ne.jpまたは公式サイトフォームから1月17日までに送信いただくか、FAXで送信願います。

出生データ

◎氏名

◎氏名の読み方

◎メールアドレス

◎電話番号

◎生年月日

◎出生時刻(午前・午後○時○分まで分かれれば、より診断が正確になりますが、分からない場合は不明と記してください)

◎出生地(都道府県・郡市区町村・町名と番地まで分かれればベストです↓こちらで緯度と経度を出します。)

第5回 占星学と運命創造学の研究分科会

日時 平成31年3月9日(土)

午後1時30分～4時30分

会場 北とびあ7階701会議室

交通 JR京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札

口を出て見える高層ビル

会費 会員 一千元(当日入会可)

一般 一千元 学生 一千元

※後述の★欄をご覧になって、ご参加予約願います。

※当日会場にて直接、現金にて

参加費をお支払い下さい。

テーマ

「いい日立ちのために」・重要なイベント開催日の占星学による選択と、真我との接続法

講師 瀬尾 泰範氏

「アストロハーモニックシステム」には、毎日の星達の配置から、その日の社会運、地球全体運を診断する「アストロハーモニックチャートδ(デルタ)」というチャートがあります。

これは太陽・月・水星以降の8惑星の毎日正午の配置から、地球を中心とした星同志の多数の組合せのアスペクトからチャートの周波数分析をして、その日の運勢を診断するチャートです。

重要なイベント・旅行・重要な契約日、婚約・結婚、会社設立等何か大事な事を始める日はどちらかと言えばイージーアスペクトが多めの日が向いており、またハーダアスペクトの多い日は、大きなミスや事故や事件、地震等が起こ

りやすいことが分かっております。

毎日の運勢をそれほど気にする必要はないと思いますが、何か重要な事を実施したい、始めたいとき、あるいは過去の特定日の運勢を知りたいとき、参加者ご希望の指定日前後9日間のチャートを2期間(9日間×2||18日間↓2期間は連続でなくてもOK)打ち出したものを当日配布して、見方の紹介を致します。

ほとんどの本格的宗教修行者の究極の目標は「悟り」、すなわちインド哲学でいう「梵我一如」だと思います。

宇宙創造神のブラーフマンとアートマン(真我)が一体化することとで、この技法は、紀元後4〜5世紀頃、パタンジャリによって編纂された「ヨーガ・スートラ」により、既に体系づけられています。常時「真我」とつながることは難しいですが、我々一般人も一時的に「真我」とつながり、重要なメッセージを受けることはあります。

そのためには「ラージャヤ・ヨーガ」の実践体系を参考にしながら、現代の日常生活の中でどうしたら

真我とつながり、やりとりが出来るかを考察、またアドバイス致します。

★既に分科会に参加されて、当会のホロスコープ(出生天宮図)をお持ちの皆様へ

既にホロスコープ(出生天宮図)等を配布された皆様は、当日すべてのチャートをご持参願います。

また、未来あるいは過去の日運を知りたい日(西暦年月日、時間追加もOK)と場所(住所)を2日分、3月6日(水)までにoffice21@psj@mail-box.ne.jp宛にメールを送信いただくか、FAX 047・330・4091に送信願います。

★初めてご参加の皆様

ご本人のオリジナル・ホロスコープ(出生天宮図)と「アストロハーモニックチャートδ」を事前に印刷したものを当日配布して、診断に利用致しますので、以下の「出生データ+α」を3月6日(水)までにoffice21@psj@mail-box.ne.jp宛にメールを送信いただくか、FAX 047・330・4091に送信願います。

出生データ

- ◎氏名
- ◎氏名の読み方
- ◎メールアドレス
- ◎電話番号
- ◎生年月日

◎出生時刻(午前・午後○時○分まで分かれば、より診断が正確になります)が、分からない場合は不明と記してください)

◎出生地(都道府県・郡市区町村・町名と番地まで分かればベストです)↓こちらで緯度と経度を出します。)

◎未来あるいは過去の日運を知りたい日(西暦年月日、時間追加もOK)と場所(住所)を2日分

第36回宇宙生命研究分科会

第1回ソクラテスシンポジウム
テーマ「オン(存在)と
ウーシア(本質)」

いつの時代にも哲学は必要だ！
平成最後の新哲学発掘プロジェクト
(シンポジオン||饗宴)♪

日時 平成31年3月31日(日)

午前10時～午後4時

会場 北沢タウンホール第二集會室

(世田谷区北沢2・8・18)

交通 小田急線・京王井の頭線

下北沢駅北口徒歩5分

小田急バス北沢タウンホー

ル系統下61(駒沢陸橋―

北沢タウンホール)終点

会費 会員 1000円(日本サイ

科学会・サトルエネルギー学会)

一般 2000円

※事前参加申し込みは不要です。

※当日会場にて直接、現金にて

参加費をお支払い下さい。

(世話役 阿久津淳)

会費 会員 一千元(当日入会可)

一般 二千元 学生 一千元

※当日会場にて直接、現金にて

参加費をお支払い下さい。

天運に導かれる!

「インスピレーションを
受けるには」

講師 小林 信正氏

(日本サイ科学会副理事長)

プロフィール

東京生まれ。東京写真大(現東
京工芸大)卒後、慶応義塾大で哲
学、心理学専攻。TV局勤務、チ
ーフプロデューサー、部長として
多数の番組制作に永年携わる。退
社後、TV制作会社の代表取締役。
大学、企業研修の講師。特異能力
研究所代表として意識と超能力の
研究を行っている。

日本精神文化研究会主宰。公益財

団法人日本心霊科学協会元常任理

事。著書に神社仏閣50選「ご利益

さま」インスピレーション」ほか。

内容

私は湯川秀樹博士から「ひらめ
き」についての話を聞いて好奇心

を抱き、その不思議さの究明に長
年取り組んできました。

「超感覚的知覚」(ESP)とい
う不思議な力のひとつである「イ
ンスピレーション」というものに
たどり着き、人は誰でも超常能力
を潜在的に持っていることが分か
りました。

先行き不透明な現代社会におい
て、先見の明や創造力、そして天
運をも導く「インスピレーション」
を授かるにはどうしたらよいのか。
その存在と意義、さらには「ひら
めき」を得るための実践ワークショ
ップも行いたいと考えています。

平成30年4月本部例会報告

未来
ログストーンシステムが拓く

講師 七沢 智樹氏

杉山 彰氏

◎七沢智樹氏のプロフィール

1979年鳥取生まれ。

2003年京都大学農学部卒業。

意識を覚醒させる実験音楽探求、
西表島の原生林で生活の後、公認
会計士として活動。

2010年より七沢研究所にてロ
グストーン等の研究開発。

LOGOSLOGY研究会を主宰し、
概念装置として、言語空間―創造
のパラダイム―階層間移動―五階
層思考―時空創造―情緒プロセッ
サー―次元宇宙コンピュータ等を
提唱。

著書…空想真話、ログスタディモ
デリング等



◎杉山彰氏のプロフィール

立命館大学産業社会学部卒。

1974年、(株)タイムにコピー

ライターとして入社し、10年間勤
務した後、杉山彰事務所を主宰。

第9回スピリチュアル研究 分科会のお知らせ

日時 平成31年5月12日(日)

午後1時30分～4時30分

会場 北とびあ7階 第1研修室

交通 JR京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤

羽寄り)の階段を下り改札

口を出て見える高層ビル

1990年、株式会社JCN研究所を設立。七沢研究所の前身の会社で研究開発に従事。

1995年、松下電器産業(株)開発本部・映像音響情報研究所のコンセプトメーカーとして顧問契約(技術支援業務契約)を締結。

2013年より、株式会社七沢研究所にて研究開発に従事。



講演内容

★ログストロンスシステム(言語周波数発振装置)について

七沢 智樹氏

一言でいうと、「言語を周波数にして発振する装置」です。予め特定の文章ファイル、例えば「ダ

イエット」、「家内安全」、「美容」、「親子関係」、「会社経営」、「就職」等々について、肯定的な内容の構文を二五〇ファイルほど登録してあります。そこに主語を入れるため特定の個人情報(姓名、生年月日、住所等)を入れることで、例えば「私は昭和〇〇年〇月〇日生まれ、〇〇〇に住んでいる山田〇〇〇である。私は最適な経営判断を行った。」という文章が生成されます。

ツというように一定ですが、言語をもとにプログラムされた周波数は変化のある疎密波となります。例えば「田中」はローマ字で書く「TANAKA」となりますが、T、N、Kは通常子音と呼ばれていますが、言霊学では「父音」と呼ばれております。Aは母音です。

子音は周波数が高く、母音は周波数が低くなります。全ての子音と母音には予め特定の周波数が割り当てられております。それらを平均すると、シューマンレゾナンスの7・8ヘルツ位になっております。

この装置(大型のノートパソコン大)は治療家の方々に使っていただいている装置で値段は高価な方ですが結構使っていただいております。

この周波数は基本プログラムは決まっておりますが、これの100倍、1000倍になっていくものもあり、波形を矩形波に変えたり、いろいろ工夫を加えております。それにより、いろいろなバージョンがあつて、スペックを変えております。

今日ここに置いてありますのは大型の最上位機種です。

これらの周波数を重ねた音が、今聞かせておりますこの音です。

なにを「発振/発信」しているのですか?という質問に対しては、「言語をもとにプログラムされた周波数を発振し、ログストロンエネルギーを発信する。」ということになります。

3000文字の文章ですと、3分位の音の連続となり、一つの文章の音だけですと粗密が強くて心地よくないので、何百の文章からできる音を重ねること、なだらかな音となつて聞きやすくなります。従つて今聞いている音は、1000種類位の文章が同時に流れている状態で、喩えますと、1000人の人間が同時に祈りを発している状態です。祈りの塊のような波動が発せられているのです。

ログストロンスシステムのベースになったのは、猪股修二先生の「ニユーサイエンスのパラダイム」にあります。「エネルギー」と「物質」と「情報」の三角形の相互構造です。

ログストロンスシステムが「情報」、発信器が「エネルギー」にあたり、その発信器から出る音を浴びる我々人間が「物質」にあたります。

ログストロンスシステムのメカニズム

1. 文章入力選択
2. 入力された文章を音素に分解
3. 音素ごとに周波数割り当て
4. 周波数プログラム生成
5. 周波数プログラム発振
6. 電磁波発生
7. ユーザー受信
8. ユーザーの意識が変化

どうやって、「周波数」を決めているの?

- ・音素ごとに周波数割り当てをします。
- ・その周波数は、「脳波」との関連から決定されました。
- ・その「周波数プログラム」は、「四次元の文字」といえます。

光の色はそれぞれ何ヘルツと決まっておりますが、「あ」という言葉が何ヘルツと決まっているわけではありません。言葉は光ではありませんが、光よりも奥の次元にあるのです。光は四次元時空にあつて、言葉(ことだま)は五次元にあるといわれています。

「あ」という言葉の波形はありますが、それはあくまで心の中に念ずるものが、ログストロンステムの「あ」という言葉の周波数になったのだと捉えています。それは脳波との関連性で整合性がつくというところで決めております。それは文字の決め方と似ているので、四次元の文字と言っております。五次元の「言霊」を「四次元の文字」に落としたということになります。ここにあるスペックの装置ですと、1秒間に1万字を発振できます。

言葉を周波数(四次元の文字)にする何が起きる？

- ・「情報の畳み込み」が起きる。
- ・言葉は、文字(紙/画面等)「二次元」または音声(空気「三次元」)によって認識される。
- ・より高次の四次元(時空)を媒介とすれば、飛躍的に、効率的な言語処理が可能になる。
- ・例えば、日本人の「以心伝心」のような「テレパシー」は、四次元時空以上の言語処理。

脳に、どのように作用するのですか？

1. 音声の脳内伝達
相手の声↓耳↓聴覚野↓言語野(ウエルニツケ野↓ブローカー野)↓前頭前野
2. 文字の脳内伝達
文字↓目↓視覚野↓第39・40野(音の情報への変換)↓言語野(ウエルニツケ野↓ブローカー野)↓前頭前野
3. ログストロン周波数の脳内伝達(仮説)
ログストロン↓(受信するという意志↓言語周波数を司る部位(ログストロン野「仮説」)↓言語野(ウエルニツケ野↓ブロー

カー野)↓前頭前野

どんな作用/効果/結果があるの？
・ログストロンの作用…意識を「空」に導く、本来の意志を発動
↓大量の言語情報が脳に入ってくると、意識が空っぽになって雑念が減ってきて、眠くなることもあるが、最終的には「自分は本来こうしたかったんだ」ということが出てくる。

ただ、本来の意志が発動する過程で、他人から入れられた意志とか霊的なものが入っていることがありますので、それが出てくるケースもあります。それが逆にトランプルになる場合もありますが(それをユーザーは「逆作用」と言ったりしている)、最終的にそこから学びを得ることができて、その結果ユーザーの方で「満足度」が出ている。

・ログストロンの効果…意識の変化
・ログストロンの結果…構文の実現/未実現

なぜ、意識進化が起きるのですか？
・「受信すると決める」ことでログ

ストロンの周波数が受信される

←
・チャネルができれば、「24時間受信し、意識の中に情報が蓄積され続ける」

←
・潜在意識下に自動的に蓄積される情報が「高速の意識進化」をもたらす

また構文の内容が分かるように、そのベシックファイルはすべて公開されていて、その自分用の書き方も分かるようにしている。

デジタルメデイテーション

日本古来の瞑想法とログストロンエネルギーの融合

ログストロン使用材料

・Titanium(チタン)

1 箇体に使用されるログストロンエネルギーを最大限高める素材
↓情報が脳に作用しやすくなる。

手は脳に直結しているので、触ると実は情報をキャッチしている。
・CMC(カーボンマイクロコイル)

・Organic Carbon(炭)

・Silicon(シリコン)

Future of LOGOSTRON

(将来のログストロン)

・ Tablet-LOGOSTRON

・ IoL (Internet of LOGOSTRON)

・ Smart LOGOSTRON

・ LOGOSTRON HOUSE

・ LOGOSTRON + AI

・ Bio-Feedback LOGOSTRON

・ Tablet-LOGOSTRON

構文を作成して、そのままダイレクトに、発信できるマシンを開発中。

・ IoL (Internet of LOGOSTRON)

インターネットに接続したログストロンを、あらゆる電化製品／車／住宅／オフィス／工場に接続し、あらゆる「モノー Things」を、ログストロン化するプロジェクトです。それを実現するために、インターネットに接続可能な、最小サイズのログストロン発信器を開発します。その最小サイズのログストロン発信器を、様々なものに接続します。

・ Smart LOGOSTRON

スマートフォンなどのスマート

デバイスから、ログストロンの発信が可能になるようにする技術を開発します。

・ LOGOSTRON HOUSE

配電盤に、LOGOSTRON.ACを設置し、家中流れる交流電気のノイズをカットし、ログストロン周波数をのせます。

住宅内外に、ログストロンのイヤシロチ化グッズを配置します。

・ LOGOSTRON + AI

構文作成から発信を、AIの補助を受けて行います。

【例】

(人間) OK ログストロン、明日の仕事がうまくいくように構文発信してちょうだい。

(AI) わかりました。このような構文を発信します。「仕事最適化構文内容…私は…」

・ Bio-Feedback LOGOSTRON

ユーザーの生体情報／精神情報／意識情報等を受信し、最適な構文の発信を行います。

Dive to (概念装置)

・ ナレッジモデリング

網羅する ↓ 分類する ↓ 階層化する
↓ 統合する ↓ 出力する

漂わせる技術
くつつく ↓ はなす ↓ くだく ↓ ただよわす ↓ みんなでただよう (オープンマインドビューマンネットワーク)

・ 思考技術

分類 (平行 / 対立) ↓ 霊の産霊の働き (ずれる / ゆらぐ) ↓ 統合 (はまる / つながる)

分類 (私 / 他者…全くまじわらない) ↓ 霊の産霊の働き (私の中の他者 / 他者の中の私…まじわりの予感) ↓ 統合 (自我統合の図)

・ 創造のパラダイム

神道的なものと物理学的なものを統合する (創造—産霊—現象の三角相互関係…情報(意志)—エネルギー(周波数)—物質(現象)の三角相互関係…気—心—体の三角相互関係)

・ 五階層思考

基本五階層 (神 / 霊 / 魂 / 情 / 体)

・ 五階層プロセッサ

◎ 結合プロセッサ…自我点から結合の働きが生まれ、結合面(プラットフォーム)から、神が形成されるまでのプロセスのプロセッサ

◎ 情緒プロセッサ…感覚点から情緒の働きが生まれ、情緒面(プラットフォーム)から、自我が形成されるまでのプロセスのプロセッサ

◎ 身体プロセッサ…誕生点から身体の働きが生まれ、身体面(プラットフォーム)から、感覚が形成されるまでのプロセスのプロセッサ

・ 創造点…宇宙創造の出発点

↓ 宇宙…ビッグバン

・ 結合面…創造された現象を網羅した面、プラットフォーム

↓ 外面…全結合(霊)パターン
・ 自我点…私という意識や心、精神が統合される点

↓ 心…魂…自我

・ 情緒面…心の動きを網羅した面、プラットフォーム

↓ 内面…全情緒

・ 感覚点…身体感覚、五感が統合される点

- ↓感覚…五感
- ・身体面…身体の働きを網羅した面、プラットフォーム
- ↓体…全身体
- ・誕生点…身体創造の出発点
- ↓誕生…受精卵

現代は認知科学が重要になってきて、そこからAI(人工知能)が生まれていっているので、結局は人間がどういふふうに物事を認知しているのか、ということの概念であり、概念装置を造ること人工知能の開発から、認知科学の発達もある。その過程で、結局私の考えでは、科学的・数値的な、最終的には光の電磁波の次元で測定するわけですけども、そこを測定するときの論理構造であり、プログラムの開発に役立つと思っております。

★ログストロギーについて

杉山 彰氏

私は主に脳科学というか量子場脳理論に非常に関心がありまして、人間の記憶とログストロンとの関係をロジックにして、広くログストロギーという観点から、より科

学に近い記憶学のような立場から説明したいと思います。

今日は、ウォーターデザイン研究会の久保田先生もいらっしやいます。が、「別天水」の情報を転写するということの処理を造りました。本来でしたら、水に情報を転写するというのは一見簡単そうなのですが、情報を持するというのはなかなか難しかったんですね。あるストリーを水に転写してそれを長期間保持できて、それを飲むと、脳や他の細胞に作用するということを映像にしましたので、お見せします。

(映像)説明字幕

『別天水物語』

ログストロン・テクノロギーが水の叡智を語り始めた

甲府は里吉の地に太古の水が湧出した。その水を「別天水」と名付けた。

7・8ヘルツのシューマン波が104・5ヘルツから108ヘルツに変化します。

水分子は正五角形のカタチになります。

正五角形に結合した水分子が集まると、クラスレート・ハイドレートと呼ばれる正十二面体が形成され、その中に原子レベルの空洞、マイクロキャビティーが包摂されます。

クラスレート・ハイドレート構造の中に、水のカプセル、マイクロキャビティーを形成。

このマイクロキャビティーに取り込まれたログストロン周波数や有機炭素などは、人間の生体組織に効率的なカタチで送り届けられるのです。

ログストロンテクノロギーは、水の叡智を語り始めた。

「別天水」は、水3・0の次元に進化した。』

脳を進化させる、言霊言語(ログストロン言語周波数)の可能性の考察

「言霊」の概念をもとにした言語周波数情報を電磁波にのせて脳へ作用させる。ログストロンシステム(言語周波数発信装置)開発コンセプトについて」

・ジョンジョー・マクファアデンの予言

「脳内には、非常によい波動力学系が存在する。それは電磁場である。あらゆる電氣的現象は、意識的な電磁場の発生を伴う。意識的な電磁場とは脳を意味し、その脳と直接相互作用させる、双方向コミュニケーション電子装置を構築できるかもしれない。」

ログストロン言語周波数を電磁波に乗せて脳へ作用させる。

ログストロン言語周波数発信装置の開発コンセプトは、ジョンジョー・マクファアデンの予言を現実化した装置といえる。

大脳新皮質の時代から、大脳新・新皮質の時代への突然変異は、何が引き金になるのだろうか。

ログストロンを常時使用するこにより、「作話的願望」をエピソード記憶として恒久的に、大脳新・新皮質へ固定化できることが可能となり、意識進化人類の登場を可能にするのではないかと。

「作話的願望」的なエピソード記憶を固定化するための要因は、無意識下に海馬に意識させる「作話的願望」であり、その「作話的

願望」を常時反復記憶化することによる学習の効用ではないだろうか。

「大脳新・新皮質」形成に至るまでの一考察、その1。

植物種の光合成機能の「光センサー遺伝子」を動物種が取り込んだ。

← 光センサーがカメラレンズへと進化して、圧倒的な視覚情報の取り込みが脳を発達させた。

← 大脳形成遺伝子の突然変異により、大脳旧皮質が異常増殖して、大脳が進化し、巨大化した。

← FOX P 2 言語遺伝子の突然変異によるタンパク質の登場により、口蓋機能が発達、もしくは、なんらかの言語機能の異常発達(突然変異)により、「言葉生成機能」が精緻化した。

← 作話能力が突出し、文字等が生まれ、大脳新皮質における記憶領域が進化・巨大化して、知性が生まれた。

そしてロゴストロンの常時使用により、記憶領域野における「海馬神経細胞」が肥大化し、「エピソード記憶」形成能力が向上し、大脳新皮質の前方に、大脳新・新皮質が形成される時代がくるのではないだろうか。

「大脳新・新皮質」形成に至るまでの一考察、その2。

← 眼を獲得して動物種が脳を獲得したことにより脳が形成された。

← 遺伝子異常で大脳が肥大化したことにより、爬虫類と旧哺乳類が分離した。

← 大脳旧皮質の進化

← 原人と新人類の違いは、FOX P 2 遺伝子の一文字の違い。言語能力を獲得したことにより、コミュニケーション力が増した。

← 大脳新皮質の進化

← ロゴストロンにより網様体賦活系(RAS)と連携し、海馬が増殖し、エピソード記憶↓長期記憶の

プロセスが拡大した。

← ロゴストロン脳(大脳新・新皮質)の進化

「ロゴストロンを使用することにより、大脳新皮質において、エピソード記憶の保持力が強化される模式図」

← 願望を想起する

← 想起した瞬間に、脳は過去の記憶を検索して、願望文を書くための準備を終える

← 構文の五階層を書き上げる経験値

← 過去の記憶から検索した願望文を採用する、しないを脳とやり取りする

← 願望文(A)が記憶される

← 願望文(A)をパソコンに入力する

← 願望文(A)を登録・申請して、ロゴストロンにダウンロード

← 願望文(A)の入力履歴を記憶化

← 願望文(A)をロゴストロンから発信

← 願望文(A)の記憶と共鳴

← 願望文(A)の記憶がロゴストロン言語周波数によって、学習効果が加速される

← 願望文(A)をロゴストロンから発信

← 願望文(A)の記憶が強化される

← 願望文(A)をロゴストロンから発信

← 願望文(A)がエピソード記憶として固定化される

← 願望文(A)をロゴストロンから発信

← 願望文(A)が長期記憶として固定化される

← この概略を述べれば、「願望文(A)」の文言を長期記憶として、

エピソード記憶として大脳新皮質に固定化するためには、何度も何度も繰り返し、記憶を想起する学習（繰り返し動作）が不可欠である。ロゴストロンは、その学習（繰り返し動作）を代行するツールである。

追加の説明をすれば、はじめ短期記憶として認識された願望文（A）の記憶は、ロゴストロン言語周波数に置換された願望文（A）と共鳴することにより、エピソード記憶として保持され、そして長期記憶として固定化されていく。

ロゴストロンによって、願望文の種類と量を、エピソード記憶→長期記憶として、大脳新皮質に保持・固定化できれば、記憶力が格段に増強され、未来を予測するために不可欠な「記憶量」が増加する。

← 未来を実現する各種願望文を、長期記憶として保持できるようになり、想像力が格段に進化する

← 大脳新皮質は人類が言葉や文字を使いこなせるようになったことにより、言語野が発達し、その言語

野が「大脳新皮質」として拡張された

← 大脳新皮質の記憶領域がロゴストロンの使用によって拡張される

← そして、大脳新皮質はロゴストロンが日常的に使用されることにより、「エピソード記憶→長期記憶」を保持する大脳新・新皮質を獲得する

これはロゴストロンの使用によって、それが獲得されるということであって、「大脳新・新皮質」という生物系の脳ができると言っているのではありません。

我々はコンピュータとインターネットによって、外部記憶として非常にいいものを持っています。ですからその外部記憶をフルに使うことは、あたかも大脳新・新皮質と同じことだと考えております。

← ですからロゴストロンセンターがあつて、そこでいろいろな構文が蓄積されて、それが共有できる場を造れば、その場の共有によってあたかも生物的な大脳新・新皮質と同じようなものの効果をもてる器械と設備を我々は手に入れる

ことになります。だいたいの道具によって人間は進化しています。

我々人間が言葉と文字をあまり使えなかつた時代には、右脳有利で左脳はあまり働かなかつたのです。人間が文字や言葉を次第に使えるようになって左脳が発達して、左脳が右脳を支配するようになったのです。それによって現代、我々はロジックが優先する社会ができあがっています。本来我々人間は、右脳のもっているアーティスティックなおおらかな気持ちがあるのですが、左脳が右脳を阻害しているのです。

「奇跡の脳」を著した女医のジル・ボルト・テイラー氏は、脳卒中中になり左脳が壊れていって、左脳優位が右脳優位になり、言葉は失ったが、感覚は宇宙につながっていった、と快復してから書いています。

おそらく我々は今、左脳優位過ぎるですね。もう一度、右脳の機能を高めて、せめて右脳と左脳の拮抗脳を造りたいと思っております。

七沢賢治は、右脳と左脳の間

脳幹が大事だと言っております。今たまたま我々は、左脳優位過ぎると。もう一度精神世界というようなものを体現するためには、右脳の働きをどう活かすか、なんですね。そうすると、このロゴストロンというのは、まさに右脳に働きかけると。それによって新しい左脳と右脳の拮抗した脳幹が発達した、新しい精神社会を享受できる人間が増えて、今とは全然違う文明社会が生まれるかもしれないと考えております。

当然我々の仮説にとっても強力なロジックを与えるものは、シエルドレイクの仮説です。「集合記憶」、「脳外の記憶」、「共鳴場」があるというものです。またゲリー・シュワルツの「動的システム記憶仮説」もあります。我々以外にも何らかの記憶の場があるだろうという、これは量子場脳理論でも水を介在して多くの情報が記憶され、共有されると考えております。



第四三一回関西日本サイ 科学会研究集会報告

「集中力」と「感性」が未来を開く！ R/C/T 残像メンタルトレーニングとは

講師 高岸 弘氏

日程 平成30年9月15日(土)
会場 阿倍野市民学習センター

講師プロフィール

高岸 弘(たかぎひろむ)

大阪市出身。一級建築士。画家。デザイナー。メンタルトレーナー。高岸建築研究所代表、R/C/T高岸応用科学研究所代表。「想像創造」高岸メンタルセッション教室主催。

1975年、イタリアミラノ市で高岸建築事務所(Studio Architettura Takagishi)開設。1979年に帰国後、建築設計、インテリア設計、工業デザイン、グラフィックデザイン等の分野で活動する。1990年に「残像現象」を活用した独自のメンタル

トレーニング技法「R/C/T 残像メンタルトレーニング」をプロデュース。以後プロデュース、高校野球、プロゴルフ、剣道等スポーツメンタルトレーニングの分野で実績を上げる。2007年、R/C/T 残像メンタルトレーニングの実績と効用を活用した「R/C/T 目標設定メソッド」を開発し、プロを目指す、またプロで活躍する選手に提供する。現在はスポーツ界のみにとどまらず、学習界、ビジネス界、医療現場での啓蒙をはかりその普及のため出版及び講演、セミナー活動が続けている。



ソフトテニス日本ナショナルチームメンタルトレーナー。国立東京医科歯科大学教養部補助講師な

どを経て現在、日本プロトレーナー協会主任研究員、学校法人阪急学園理事。また松岡修造プロテニスプレーヤー引退後五カ年計画のプロデュースなども手がけている。

著書に「思いのままに脳を動かす」「残像力」(講談社刊)、「こころを脳を集中させる」(同)、「生き方が変わる住まい革命」(同)、「君の甲子園」(報知新聞社刊)、「ビジネスに使える残像ツール」(CD-ROM) (株船井総合研究所刊)ほか。仕事、スポーツ・すべての基本となる集中力、集中持続力を高め、さらに「感性」を磨いて「創造力」を豊かにする残像メンタルトレーニング。その効果、脳と感覚器官の活用法についてお話しいただきます。

内容

「残像メンタルトレーニング」は、誰でも太陽など強い光を見る事で体験する「残像」という現象(脳のはたらき)を使い、各自の願いを短時間に失敗することなく達成させるというものです。

まず自分は何をするのか?と言う「目的」をハッキリとさせた上

で「リラックス」をテーマに制作された図柄から現れる残像をゆつたりと眺めます。残像を眺めることで、マイナス要因となっている雑念や緊張などを忘れさせ、ゼロの状態にセットします。

その次に「集中」をテーマに制作された図柄から出る残像を強く見つけることで、すでに「リラックス」している脳のエネルギーを一点に集め切る。いわゆる無心の状態になりさらに、いろいろな「目的」別にデザインされた図柄で「目的」を再確認しながら、それを達成するための状況判断を明確にして思考を巡らし行動を起こして行くというものです。

そうすることで、こころ一番!という時に「技術力」「体力」を最高の状態にもって行くことができ、単純な失敗や間違いなどもなくなり「残像」という誰にでも起こる現象を用いたこれら一連の脳の働きにより、集中力を高め、また困難な気持ちを切り替えて成功へといとも簡単に誘導して行く...それが「残像メンタルトレーニング」の効用といえるでしょう。



第四三二回関西日本サイ 科学会研究集会報告

「手相と意識」——未来を知る
から作るへの手相術

講師 高峯 秀樹氏
(手相研究者)

日程 平成30年10月20日(土)
会場 阿倍野市民学習センター

高峯秀樹氏のプロフィール

1932年神奈川県藤沢市生まれ、日本意相研究会(手相研究)代表、俳句結社「赤蜻蛉」主宰、日本脚本家連盟員、日本放送作家協会(功労)会員、関西日本サイ科学会幹事

内容

○河野会長とのご縁もあって、東京本部で1回、関西では今日が3回目の講演である。

○私の手相への関心は、女性の手相が見れるという軽い気持ちから始めました。

後年、80才の定年退職後、元気

で長生きする為にはどうしたらよいかを考えた時に、その仮説は右脳を使い細胞を活性化することであった。しかし右脳を使っているのをどう確かめるのか。そこでひらめいたのが、私が興味を持っている手相である。右脳を使ったら左掌の相が変わるのではないかと思いつきました。



いる。

○手相術を科学的に研究していくのには手相の数運学を駆使することで深みが出てくる。それによりその人独自の生きるリズムを知り、さらに百才へ向け始動させることが期待できる。

○今や世の中は百才時代へ向け対応が急がれている。手相の分野では従来から若い女性のニーズが多いがこれに加えて最近が高齢者の関心が高まっている。私は10年近く大阪市後援の医療ボランティアのセミナーで手相診断を担当している。そこで得られた事例をふまえて、最近右脳を開発すること「ピカソのように元気で長生き」を掲げて手相術を啓発している。

題して「未来を知る手相の科学」から「未来を作る手相の科学へ」。

○これまでの手相術の歴史は事例の積み重ねによる統計的アプローチが主流である。然し最近の環境の激変は従来の手法では人生を活かすことは難しく、やはり右脳を活用することを考えるべきであろう。

つまり手相診断の目標は右脳を活用することで人生を最大限に活かすことである。

哲学者カントのいう「手は頭脳の延長である」をヒントに私は「掌は頭脳の外部表現」と捉え、右脳を活用してその変化を手相で確認する見方で検証し、提唱して30年。この方法で、私自身も左の手相に変化が現れて生命線が二重になり、より元気になって喜んでいる。

○私は30年前に油絵、書道、俳句を同時に始めた。特に俳句の分野では、現代俳句のパイオニアである山口誓子師、俳句研究の第一人者松井利彦師に出会い俳句と詩論評論をまなんだ。俳誌「天弓」の主宰(現在は「赤蜻蛉」主宰)を務め多くの体験をした。これらのことは右脳の開発に益するところが多いと感じている。それを基礎に独自の右脳俳句を生み出し「ピカソのように元気で長生き」のスローガンを掲げて、指導に当たっている。

○講演当日は女性のみ先着5名を観る予定でしたが、出席者の男性の多くが手相を観にこられました

前無意識「まなしき」、無意識「あらやしき」、或偉大なもの(SG)の4種類があると思う。

SGは物(脳、脊髄など)を介さないで、古くから、広く、既に存在していた。「まなしき」は無意識のなかの意識に近いもの(フロイト)。「あらやしき」は無意識そのもの(ユング)で、広く個人を越えて存在していた。これらの意味するところは、意識は脳の神経細胞[回路]を介する気づき[認識]であり、知性や理性を担当している。しかし、サイ現象にはむしろ否定的・批判的に働く感がある。サイ現象生起には、「まなしき」や「あらやしき」が関係しているらしい。これらは「トランス」または変性意識状態(ASC)を担当するとも言われているが、「たまゆら」との情報交換には、ASC付近[多分、直前の状態]が関与している様子である。

というのは、「トランス」状態では、サイ現象を制御して情報交換する事が難しいと思うからである。なお、心(意識、無意識)は科学的に評価する事が困難なので、厳密[科学的]に述べる事は難しい。しかし、瞑想や呼吸法などで脳波をシーター波(スロー)にする訓練を経た人達、並びに心の制御をより多く訓練・経験をした人達が、サイ制御に適していると言える。なお、一般には、「たまゆら」制御には、何も考えないで、熱心に、一生懸命に取り組む事が求められている。

5. サイ[気]を制御する

サイ[気]を制御する為には、素粒子並びに

ノイズの性質を知る必要があると思う。と云うのは、サイ[気]は素粒子の性質を持ち、ノイズとして存在しているからである。

5-1) 素粒子としてのサイ[気]

後述するが、オーブの持つ性質と量子の性質とは多くの点で類似している。量子力学では光も量子の一種であり、光子という。量子は波と粒の両面性をもっている。普段は重ね合わせの波の状態であるが、観察[見る]すると、波が壊れ、確率的に場所が決まり、粒(物)になる。波の時間変化は波動関数で表示されるが、この式の中に虚数を含んでいるので、場所が決まる(物)変化は、サイ(気)現象の負方向変化の原因となるのかも知れない。というのは、虚数の2乗は負であるから。

フォン・ノイマンは、波の収縮は人の意識の中でも起こる。つまり見ようと意識すると確率的に現象が現れる、と言明している。これは、オーブ(たまゆら)を見ようと意識すると、光子の重ね合わせの波が壊れて、確率的にオーブ(物)が出現してくる事に類似しているのかも知れない。

5-2) ノイズとしてのサイ[気]

オーブ(たまゆら)を取り巻くノイズ状小球オーブの吸収・放出が念写像形成の主役を果たしている。その他。紙数の制限から、実験を含めた具体的な手法については、続報で述べることにしたい。

のでびっくりしました。講演終了後の懇親会で本日の講演を踏まえて、関西日本サイ科学の分科会の一つとして、この2018年11月から毎月第3月曜日の夜に6回にわたり「手相術」の講座を開くことになりました。

◇ 又、出版社から「手相術の日めくり」を作ろうとの話が出てさっそく原稿をお渡ししました。
◇ また続けて「新手相術」を出版する予定です。

◇ これらは右脳の開発に大いに役立つでしょう。活用を期待しています。

◆ 当日の参加者は会員10名、非会員10名、合計20名でした。



〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 日本サイ科学会発行

電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

公式サイト <http://psi-science.sakura.ne.jp> ML申し込み先 office21@psij.mail-box.ne.jp

サイ現象時のノイズについて (無意識、光子)

佐々木 茂美

1. はじめに

物心二元論は、世の中のすべての事柄を物と心に分けて、別々に論議するものであるが、この方法では説明のつかない事柄が多数存在している。例えば、サイ科学には念力(PK)と言う現象がある。体外に存在する物質が、意念の働きに反応して、両者の間で情報交換をするものであり、従来の如何なる理論でも、説明する事が出来なかった。本稿では、これに関与する中間物質(情報、エネルギー)をサイ[気]と呼んで、素粒子(観測問題)とサイ[気]の関係、どのような条件でサイが生起し、どのように超常現象が起きるか、等について、筆者らの実験結果をもとに推定する。

2. オープ(たまゆら)とは

実験・実証研究が進行中であるが、判明した事項として、(1) オープ(たまゆら)は、空間に出現するほぼ球状の巨視的な光[色]物質である。(2) 近赤外線領域に潜んでいるので、視覚などの五感では認知できない。(3) 空間に広く拡散し、ランダムに出現する(非局所性)などの素粒子(量子)類似の性質を示す。(4) 撮影者との間で情報交換(応答)がある。つまり、PKとして意念(意識して念じる)の働きに反応する。(5) オープ(たまゆら)は陰性と陽性の光子群の集合体(自己発光体)であり、移動中に色と形と寸法などを変化させる。また、(6) この現象は、動画として撮影、連続記録することが出来る。(7) 条件を選べば、何時でも、何

回でも、誰でも、30%以上の確率で出現する事が可能である。その他。

3. 心と物の科学

太古の昔から、人は、死者を祭るなどの行為の有る事から推定される様に、ある種の偉大なるもの(SG)や神や霊の存在を感じていたらしい。つまり祈りの対象があった。中世になると、2元論のデカルトの出現によって、それぞれ(物と心)を分けて検討することになった。物の世界では因果律、再現性、積み重ね、等が保証されているので、科学として、驚くほどの発展がみられた。これに対し、心の世界は、それらが満たされていないので、見るべき発展は殆ど無かったように思う。

これは前者がマクロな五感(可視など)で判断・評価出来る「物」の世界を活躍・判断の場とし、後者が非可視の量子(素粒子)の世界に関係する割合が多い事によるだろう。サイ科学で扱うサイ[気]は物と心の両面性を兼ね備えている。例えば、「スピリットオープン(SO)」又は「たまゆら」は、その出現ならびに変化挙動がサイ[気]の働きによっておこなわれている。筆者らは、「たまゆら」や「メタル」等に生起したサイ現象の実験を介して、心と物の両者はどのように関連しあっているか、等について検討する事にした。

4. 心の種類とサイの制御

実験結果をもとに推定すると、心には意識、